

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	心きらきら中川児童デイサービス事業所		
○保護者評価実施期間	2025年11月 19日		～ 2026年 1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	2025年11月 19日		～ 2025年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの実態に応じた療育の実施 保護者との信頼関係の醸成 接遇サービスの向上 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの実態に応じて個別療育と小集団療育を実施 外国につながる発達障がい児の積極的な受け入れ 不登校、行き渋りなどの学校に行きたいけれど、障がいなどにより登校できない子どもの支援 困難事例への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 人的資源の安定的な確保 職員資質の向上、研修機会の確保 組織面の円滑な新陳代謝 外部の関係機関との連携
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 外部の機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 療育の形態が個別対応が中心の運営であるため、対外的な派遣に要する人員の確保が難しい。 子どもの多様な実態や複雑な生活環境の変化により、幅広い支援体制が必要とされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが在籍する学校や放課後児童クラブ等との連携 児童発達支援センターとの協働 自立支援協議会への参画 医療、保健、教育、行政等の複合的な支援体制
2	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災の取組 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所が開所している曜日や時間と地域の防災訓練等の曜日、日程が合致しないため、発災時の協働関係が構築できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所としての条件を具備 洪水想定訓練や準備、対策
3	<ul style="list-style-type: none"> DXによる業務の効率化、省力化 	<ul style="list-style-type: none"> IT機器の導入 職員のIT機器活用 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス化、キャッシュレス化 生成AIの活用、 利用者にとってより簡便な予約システムの開発、 療育活動の動画、画像、評価コメント等の即日配信、